

3 授業実践
 (2) 中学校 2 年生の授業実践

1 主題名 役割と責任、そして成長 (内容項目 C-15【よりよい学校生活、集団生活の充実】)

2 教材名 「合唱コンクール」(学校図書)

3 教材について


本教材は、合唱コンクールを通して「僕」が所属する学級が集団として、対立をしながらも、ま
 とまり、向上していこうとする姿に共感できる内容である。

4 ねらい

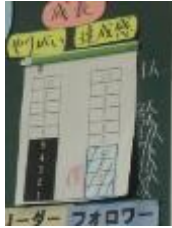
「僕」の合唱コンクールへの思いと行動の移り変わりを通して、集団の中での役割や責任を自覚
 させ、集団や自己の成長のために、物事に協力して取り組もうとする心情を育てる。

5 展開

展開は「協働的な学び」における発問や手立て

段階	学習活動 ◆主な手立て	_____は基本発問
導入	<p>1 本時の方向性をつかむ。</p> <p>◆電子黒板に、リーダーを想起させるような有名人やスポーツ選手、政治家の画像を見せた。</p>  <p>◆組織やグループの役割には大きくリーダーとフォロワーに分かれるということを確認した上で、事前のアンケートを取り上げた。</p> <p>◆ワークシートと簡易ホワイトボードにスケーリングさせ、自分の考えを可視化させた。</p>	<p>_____は基本発問</p> <p>T この人たちに共通することは何でしょう。</p> <p>C タレント</p> <p>C 芸能人</p> <p>C 政治家</p> <p>C 有名人</p> <p>C リーダー</p> <p>T リーダーの反対の言葉は何ですか。</p> <p>C メンバー</p> <p>T この人たち自身はメンバーではないですか。</p> <p>C メンバー</p> <p>T 最近では、ツイッターやインスタグラムでこの言葉をよく聞きます。</p> <p>C フォロワー</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>アンケートを通じて、この授業では「成長」とは達成感を味わったり、やりがいを感じたりしたこととした。</p> </div> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="background-color: yellow; text-align: center;">事前のアンケートで、自分が成長できたこと</p> <p style="background-color: lightgreen; text-align: center;">達成感を味わったり、やりがいを感じたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼びかけをした時に、みんなが聞いてくれたら、やりがいを感じた。 ・委員長になって仕事をするときに、やりがいを感じた。 ・1学期に総務となり、みんなの前で大きな声を出すことが苦手でできなかったと思ったが、できるようになった。 ・みんなと協力できるようになった。 </div> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">児童生徒の対話を深めさせる手立てや発問</p> <p>T リーダーとフォロワーの経験とではどちらが、より成長できると思いますか。リーダーの成長が5だとしたら、どのように考えますか</p> <p>C リーダーとしてみんなをまとめることができるから。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">自己の考えを可視化させる手立て</p>

◆スケーリングで自分が書いた得点を挙手させ、教師が板書することで、クラス全体の傾向を可視化した。



学級全体で最も多かった得点の欄までを色で塗った。

C フォロワーとして
リーダーをフォローしながら、活動できるから。

リーダーを5とした場合のフォロワーについての得点
10点…1人、9点…0人、8点…0人、7点…2人、
6点…3人、5点…11人、4点…7人、3点…1人、
2点…0人、1点…0人

自己の考えを可視化させる手立て



ワークシートにスケーリングする様子



挙手で発表させた

◆それぞれの得点を書いた生徒の傾向を知るために、自分が書いた得点の理由を数人に発表させた。

◆今日のめあてはリーダーやフォロワーといった役割と成長ということについて考えていくということを示した。

T なぜ、そのような得点にしましたか。

C 10点、リーダーを助けたフォロワーはリーダーの2倍成長できると思ったから。

C 5点、フォロワーもリーダーを支えれば、同じぐらい成長できると思ったから。

C 4点、リーダーよりも人数が多いから人に任せてしまうと思ったから。

児童生徒の対話を深めさせる手立てや発問

展開

集団の中での役割と自己の成長について考えよう。

2 「合唱コンクール」のあらすじを聞き、話し合う。

◆あらすじの前半を挿絵で示しながら、「僕」のやる気のなさ、小野君の頑張りを確認した。



あらすじを板書した

T 小野君と「僕」はどちらがリーダーですか。また、フォロワーはどちらですか。

C 小野君がリーダーで、フォロワーは「僕」。

T 大きな声で歌う小野君を見ながら、「僕」はどんなことを考えていたでしょう。

◆似ているという意見と似ていない（得点は1点もしくは0点）という意見が出た。この段階での「僕」の成長をクラス全体で問い、生徒の全員が1点もしくは0点という意見であるということを確認した。

◆視覚的に理解できるようにあらすじの中盤を挿絵で示した。



教師の発問に対して、生徒が考えている様子

◆視覚的に理解できるようにあらすじの後半を挿絵で示した。その際、実行委員として小野君を取り上げ、委員として見事に役割と責任を果たすことができたということを確認した。

◆互いの考えの違いを知るために、席が近くの人とペアで話し合いをさせた。



ペアで話し合いを行う様子

- C 練習を早く終わりたい。
- C 小野君は歌うのが好きなんだろう。
- T このまま合唱コンクールが終わってしまったら、それぞれの成長は初めにみんなが言ってくれたスケーリングと似ていますか。
- C 似ている。
- C やる気がない「僕」はこのままだったら、1点もしくは0点だと思う。

- T （『僕』だって好きで歌っているんじゃない）というセリフのカードを貼り）なぜ、小野君は一生懸命に歌っていたんでしょうか。
- C 実行委員としての責任感から歌っていた。

- T 千葉先輩の話を聞いたとき、「僕」はどのような気持ちになったんでしょうか。
- C 頑張っている小野君に協力できない「僕」は格好が悪かった。千葉先輩のように胸を張って歌ってみよう。
- C 一生懸命に歌う千葉先輩がかっこいい。

- T もう一度クラスに戻った後、「僕」は一生懸命に歌いましたか。
- C 一生懸命に歌った。
- T 小野君は一生懸命に歌ったと思いますか。
- C 一生懸命に歌った。



- T 小野君の成長は、初めに考えたものでは、5点でしたが、合唱コンクール後はどのくらいになったと思いますか。
- C 8点。初めよりもクラスが気持ちを一つにすることができ、一丸となって取り組むことができたから、それをまとめた小野君の成長も上がったと思うから。
- C 合唱コンクール後の、「僕」の成長と実行委員の小野君の成長とを比べてみましょう。小野君が8としたら、「僕」の成長はどのくらいでしょうか。理由も書きましょう。
- C どちらも大きな成長があったと思う。
- C 練習を頑張らなかった「僕」が、頑張ったことによって、認められるようになったから、「僕」の方が大きいと思う。

自己の考えを可視化させる手立て

◆自由交流で、様々な生徒と意見の交流をさせた。

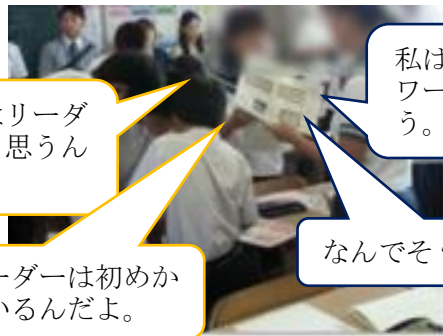
T自由交流をしてもらいます。自分と同じ意見の人だけではなく、様々な人と交流をしてください。

なるほど。でも、私はリーダーの方が成長できると思うんだよね。

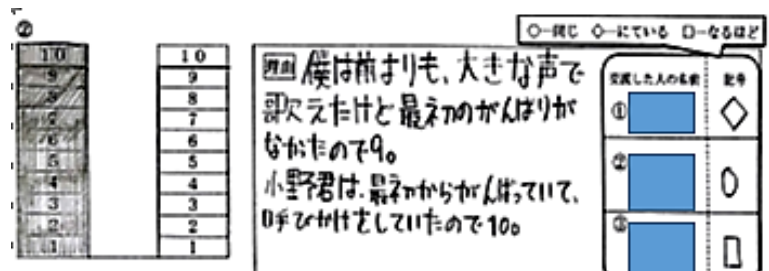
私は、リーダーよりもフォロワーの方が成長できると思う。

だって、リーダーは初めから頑張っているんだよ。

なんでそう思うの？



◆交流後に、友達の意見と自分の意見を比較し「同じ」「似ている」「なるほど」で分けさせ、ワークシートに書かせた。



視点をもって交流させるために、友達と自分の意見の相違点や共通点などを表す記号で書かせた。

◆自分の最終的な「僕」の成長の得点を両手で示させた。



両手でスケーリングした数値を挙げさせた

◆リーダーとフォロワーの掲示物を剥がす。

役割も大切だが、それ以上に「やる気」や「努力」、「協力」が大切だという意見が生徒から出てきた。



Tリーダーとフォロワーという役割は、成長と直接関係はありますか。

C関係ない。

T小野君と同じように、「僕」も大きく成長できましたが、どのような気持ちが成長につながったと思いますか。(ペア)

Cやる気

C前向きな気持ち

児童生徒の対話を深めさせる手立てや発問

T小野君と「僕」は合唱コンクールを通じて、成長していましたが、クラス全体は成長できたでしょうか。

Cクラス全体が成長できたと思う。

Tこんなクラスになりたいですか。

Cなりたい。

自己を問い直させる発問や、これからをイメージさせる手立て

<p>録</p>	<p>3 集団生活についてとこれからの自分について考える。</p> <p>4 中学校3年生の合唱コンクールのVTRを視聴する。</p>	<p>T今日の学習で学んだこととこれからの自分について書きましょう。</p> <p>Cみんなで活動する中で、意見がぶつかったり、自分の思うようにならなかったりするけど、一生懸命に頑張っていれば、みんなのためにも、自分のためにもなるから、これからの学校生活も頑張っていきたい。</p> <p>自己を問い直させる発問や、これからのイメージさせる手立て</p>
----------	---	---

(生徒のワークシート例①)

合唱コンクール	2年	組	号	名前	
①	10 9 8 7 6	10 9 8 7 6	<p>①</p> <p>リーダー フォロワー</p> <p>②</p> <p>リーダー フォロワー</p>		
<p>①</p> <p>リーダー フォロワー</p> <p>②</p> <p>リーダー フォロワー</p>					
<p>今日の学習で、集団の中で役割と成長について学んだこと</p> <p>最初は、リーダーとフォロワーには、どんなことが必要で、成長する</p> <p>のが重要だとわかった。本当は、みんな、それぞれ、協力</p> <p>しあうという気持ちが大切だということがわかった。</p> <p>リーダーは、フォロワーに、サポートして、いかに成長させるか</p> <p>で、みんな、協力しあうことが大切だ。みんなが協力して、成長</p> <p>していくことが大切だと思えた。これから、みんなで協力し</p> <p>て、成長していきたいと思える。自分もみんなも協力して、成長</p> <p>していきたいと思える。</p>					

集団の中での役割と成長について、やる気や努力、協力しようという気持ちが大切だと気付いている生徒の記述。学級がまとまり、それぞれが成長していくためには、全員が頑張ることが大切で、そのことを今後の生活に生かそうとしていることがうかがえる。

(生徒のワークシート例②)

合唱コンクール	2年	組	号	名前	
①	10 9 8 7 6	10 9 8 7 6	<p>①</p> <p>リーダー フォロワー</p> <p>②</p> <p>リーダー フォロワー</p>		
<p>①</p> <p>リーダー フォロワー</p> <p>②</p> <p>リーダー フォロワー</p>					
<p>今日の道徳では、集団の中での役割と成長について考えました。</p> <p>そのことから、リーダーとフォロワー、関係なく一人一人が努力をし、みんな</p> <p>が協力すれば役割関係なく成長できるということも学びました。</p> <p>どんな役割でもみんな協力し、一人一人が努力することで必ず</p> <p>みんな成長できるということになるのだと思えました。</p> <p>これからは、他人にまかせればよいとは思わずに、みんなで協力し、</p> <p>自分もみんなも努力していきたいと思えます。</p>					

一人一人が成長するためには、役割はもちろん、それぞれの努力や皆の協力が大切だと気付いている生徒の記述。これからの自分の行動について、「他の人にまかせればよいとは思わずに、みんなで協力し、自分もみんなも努力したい」と自らの生活に生かそうとしていることがうかがえる。

6 授業のまとめ

○視点Ⅰ「一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させることができたか」について

- ・役割には大きくリーダーとフォロワーがあるということを押さえた上で、今までの経験等を含めて役割と成長について、スケーリングを用いて自分の考えを可視化し、互いの意見を交流させました。交流を通して、自分自身の判断の根拠は何か、また友達は何を根拠に判断しているのか等、自分の考えと自分以外の考えを捉えることができたと考えます。また、「同じ」「似ている」「なるほど」という分類で友達の意見を聞いたことで自分と友達の意見の共通点と相違点についても捉えることができたと考えます。
- ・集団の中での役割と成長について、意図をもった対話活動を行ったことにより、役割を果たすことの大切について十分に理解しながらも、それだけでなく、新たにそれぞれの役割に向かう気持ちと行動が大切であることに気付いている姿が見られました。更に、個人の成長が集団生活の充実につながるという道徳的価値の素晴らしさについても感じる事ができたと考えます。

○視点Ⅱ「自己のこれまでの価値理解を修正したり、強化したりしたか」について

- ・授業の初めに、役割と成長の事前アンケートの結果を提示したり、クラス全体の意見を人数で示したりしたことで、今の自分自身について見つめるきっかけとさせることができました。
- ・当初はリーダーの方が成長できると考えていたが、自由交流などの意見交流を通じて役割よりも役割に向かう気持ちが大切だという価値理解の修正を行う生徒が見られました。
- ・役割と成長についてワークシートに記述することができ、学んだ道徳的価値を基に、これから自分はどうのように行動していきたいのか考えを記述することができたと考えます。